

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2024年9月30日 No.35

無実の人間を犯罪者にする社会に 怒りを持って「NO」を突き付けよう！ 「袴田事件再審」完全勝利！

袴田事件とは…

1966年6月30日、静岡県清水市にある味噌製造会社の専務宅が燃え、焼け跡から多数の刺し傷がある一家4人の他殺体が見つかった他、多額の現金などが盗まれた強盗殺人放火事件をめぐっては、同年8月に元プロボクサーで味噌工場の従業員だった袴田巖さんが逮捕されました。

袴田さんは当時、取り調べで非人間的に自白を強要されるなどして死刑が確定していました。しかし、大量の自白調書の内容や袴田さんの証言が事件について有力な証拠となる内容とは違うことが明らかになり、無罪である可能性が高まってきました。（えん罪の疑いが強まる！）

2014年3月：第2次再審請求で再審開始
2018年6月：再審開始決定のみを取り消し
2020年12月：上記決定を取り消して差し戻す
2023年3月：再審開始決定を支持
2024年9月26日の判決で無罪



自白を強要＝事実を隠蔽



「えん罪・JR浦和電車区事件」でも無実の美世志会の仲間に自白を強要する取り調べが行われました。

さらには、現在のJR東日本会社においても職場で発生したパワハラや不当労働行為をめぐって、事実を捻じ曲げる事象が相次ぎ、不当処分や強制異動が乱発しています。

JR総連内でも無実の仲間が訴えられ、裁判闘争になっています。JR東労組はえん罪を許さず、安心して暮らせる社会を連帯する仲間と共にめざします！